

高等学校教育課 各教科担当指導主事

演題 「学習指導のシステム化」

—フローチャートによる学習指導—

各教科とも、現代化にふさわしい授業展開であり、教科分科会の研究も例年になく深められ、全体会における講演も、現場の課題にこたえるものであったので本事業の課題にせまることができ効果的であった。

2 各種研究指定校

(1) 文部省指定

① 研究開発学校

- 学校名 福島県立相馬女子高等学校
- 指定期間 昭和51年度から55年度までの4か年間
- 研究主題 高等学校において、生徒の多様な能力・適性、進路志望等に対応した学習を図るため、単位制の徹底と、履習方法の弾力化を可能にする教育課程の研究開発。

② 高等学校生徒指導研究推進校

- 学校名 福島県立白河女子高等学校
- 指定期間 昭和50・51年度の2か年間
- 研究主題 意義ある高校生活——学校生活に親しみを持たせ、学習意欲を高めるにはどのようにしたらよいか。

(2) 福島県教育委員会指定

① 目的

県立学校における各教科の学習指導、進路指導、生徒指導、特殊教育、教育機器の活用等に関する実践的な研究を行い、その成果をひろく県内各県立学校等に普及させ、本県県立学校における教育諸活動の充実向上に資することを目的とする。

研究分野	学校名	研究主題	研究期間
教科指導 (数学)	県立双葉高校	数Ⅰ関数と数ⅡB微分積分を関連させた効果的な指導法について	50～51年度
生徒指導	県立若松商業高校	余暇行動の指導はどうあるべきか	〃
	県立平商業高校	本校生の生活実態とその指導——とくに基本的な生活習慣の確立について——	〃

第5節 道徳教育・生徒指導

1 道徳教育

各学校並びに関係機関の努力によって、学校の全教育活動をととして行われる道徳教育及び道徳の時間の指導が充実の度を加えつつある。

また、昨50年度より実施された、文部省指定道徳教育協同研究推進校の発表会が両地域で行われ、新方式により小・中の一貫性や、地域との関連を図った実践研究の成果を発表し本県道徳教育の推進に多大の貢献をした。

(1) 小学校教育研究会道徳部会

① 研究主題

「ねらいにせまる指導過程の構成は、どのようにすればよいか」

② 主催

県教育委員会、県小学校教育研究会、関係市町村教育委員会

③ 会場

地区 各地区ごとに設定(16会場)

県 保原町立上保原小学校

④ 期日

地区 各地区ごとに実施

県 昭和51年10月5日～6日

(2) 中学校教育研究会道徳部会

① 研究主題

「豊かな人間形成を図るための道徳教育はどのようにすればよいか」

② 主催

県教育委員会、県中学校教育研究会、関係市町村教育委員会

③ 会場

地区 各地区ごとに設定(16会場)

県 郡山市立小原田中学校

④ 期日

地区 各地区ごとに実施

県 昭和51年10月26日～27日

(3) 昭和51年度道徳教育講習会

① 趣旨

小学校、中学校における道徳教育の充実、指導の徹底を期するため、道徳教育における基本的な問題及び指導上の諸問題を解明し、教職員の資質の向上を図る。

② 主催

文部省、県教育委員会

③ 主題

- 道徳教育の全体計画の必要性
- 道徳の年間指導計画の改善
- 道徳の指導過程と指導方法
- 資料の選択、収集、整備と活用
- その他、地区の実情に即した主題

④ 会場

県内16地区ごとに設定

⑤ 期日

各地区ごとに実施、期間は3日間

⑥ 参加者数

小学校 567名

中学校 261名

(4) 道徳教育研究学校

① 協同研究推進校(文部省指定)